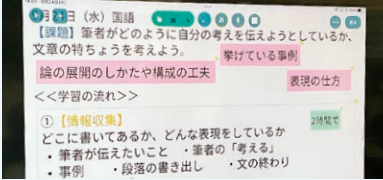


子どもが主役の授業づくり

子どもが主体的に学習を計画・調整する力や、対話を通して他者と学び合う力を育みます。

個別最適な学び

一人一人の特性や学習進度に合わせ、ICTを効果的に活用し、理解度を深めます。



単元や授業の目標・流れなどを確認する

学び方を選択し、自分のペースで課題に向き合います



教科書を使って情報収集を行う



デジタル教科書を使って音読練習を行う

興味・関心などの個性を發揮し、学習を深め、広がります

例：「ことわざ辞典」を作成しよう

<一人一人のテーマ>
A: どんな人がことわざを考えたのだろう?
B: ことわざは生活の中でどのように使われているのかな?

A: 図書館でことわざについて調べてみよう

B: 新聞にことわざを使った記事があったよ

<異なる目標>

A: ことわざの歴史

B: 身の回りにあることわざ

自らの学び（気づきや成長）をふり振り返り、次の学びを設計するなど、自分でよりよく学びを進めていく力を育みます

協働的な学び

先生・友達・地域の方など、多様な他者と協働しながら、考えを組み合わせ、よりよい学びを生み出します。



学びの往還

ICT機器も活用して、友達の考えからも学びを深めます



自分の考えを他の人と比べたり、相手の意見や知識を取り入れたりすることで、考え方を広げる

様々な学習形態で意見を交わします



教師からの問いかけや補足説明などによって、学びをさらに深める



学ぶ形態（ペアやグループ等）を選び、意見交換を行うことで、授業の目標にせまる

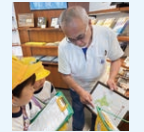
多様な他者と関わりながら学びを進めます



異学年同士の交流



リモートによる他校との交流



地域の方との関わり

新たな学校教育プロジェクト

変化の激しい時代を生きる子ども達に必要な力を培います。

探究的な学びの充実

生活科や総合的な学習の時間を中心に、子どもの思いや発想を生かし、探究的な学びの充実を図っています。実社会や実生活における疑問や関心に基づき、自ら課題を見つけます。情報収集や分析等を行う過程で対話を通して学びを深め、課題解決能力を身につけています。



情報活用能力の育成

小学校では、計画的にプログラミングを体験することで「プログラミング的思考力」を育てています。

中学校では、技術科や総合的な学習の時間等で情報活用能力を高め、デジタル社会に適応できる力を養っています。



英語教育の推進

小学校にネイティブスピーカーの外国語指導助手（ALT）を配置することで、児童の英語によるコミュニケーション能力を育むとともに、外国の文化・習慣に触れる機会を作り出しています。

